

オリパラ便り



平成30年3月13日(火)
第7号

<ブラインドサッカー体験授業>

3年生の保健体育の授業を通して、ブラインドサッカーを体験しました。障害者スポーツであるこの競技では、通常、情報の8割を得ているという視覚を閉じた状態でプレーします。技術だけではなく、視覚障害者と健常者が力を合わせてプレーするため、「音」と「声」のコミュニケーションが重要です。アイマスクを着用しているため、ドリブル・パス・シュートといった基本的なボール操作も、音の鳴るボールと仲間の声を頼りにプレーしなければいけません。生徒からの感想では、「真っ暗で怖い」「自分がどこにいるかすら、わからない」「サポートしてくれた仲間のぬくもりを改めて感じた」など、様々な感想が挙がりました。2020年はボランティアとして、何かお手伝いをしたいという意見が、多数でした。



<ウィルチェアラグビー選手交流会>

1月27日(火)・28(水)の2日間にわたり、ウィルチェアラグビーの日本代表選手を含む、8名の選手に来校していただき、全クラスを対象に体験授業をしていただきました。初めの自己紹介では、交通事故や病気などが原因で、障害をもつことになった話などをしていただきました。その後は、競技の説明を聞き、デモンストレーションのスタートです。選手達は競技用車いすを自在に操って向きを変え、パスを出しトライを目指

します。タックルの「ガツン!」という大きな衝撃音が響き、車いすが横倒しになりました。予想以上のスピードや迫力に生徒たちは一気に引き込まれていきました。その後、競技体験では、選手のタックル体験を受け、体育館は大盛り上がりでした。最後に、代表の峰島さんから、チャレンジ精神と共生社会へのメッセージを語っていただきました。目標である、2020年大会「金」メダルを目指して頑張ってください。



<卒業生による講演会>

平成25年度の卒業生、日本体育大学1年の鈴木栞さんをゲストティーチャーとして招き、「夢を叶える」をテーマに3年生女子に向けて講演会をしていただきました。鈴木先輩は、中学校2年生の時に、日本体育大学の集団行動をテレビのドキュメントで見たのをきっかけに、私もこれに出たいと強く思ったそうです。昨年行われた発表会に、出演し、中学校時代の目標を見事達成することができました。先月、テレビで放送されたドキュメント番組を活用しながら、苦労したことや努力することの大切さを語ってもらいました。今後は、保健体育科の教員になることを目指し、夢を叶えるために日々努力をしているとのこと

です。
皆さんも石神井西中学校の卒業生として、胸をはり、目標や夢を追い続け、人生を歩んでほしいと思います。3年生卒業おめでとう!



(卒業生：鈴木栞さん)

